

きらり チームほおの木

<笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい>

令和2年6月20日(土)
文責 伊藤 博子

傘かしげ

先週の雨の日のことです。朝、市立図書館の交差点に向かうときに、狭い道で6年生の男の子に会いました。

「おはようございます。」

「おはようございます。」

とあいさつを交わしました。と、その時です。すれ違う瞬間、男の子が傘を少し外側に斜めにしたのです。おっ、と思いました。これは、「江戸しぐさ」と言われる相手を思いやる行為の1つです。傘がぶつかないように、相手が道を通りやすいようにさりげなく傘をかしげること。それがあまりにも自然だったので、じとじとした雨が降っていて少し憂鬱な気分でしたが、とても気持ちのいい朝にかわりました。やさしいほおの木っ子、素敵です。



体育の研究授業から

学校では、授業を互いに参観して、良かった点、改善点を話し合い、子どもたちのためによりよい授業を考えています。

6月11日に、5年2組の体育の授業を参観しました。内容は、リレーでした。7人ずつのチームでリレーし、どうしたらタイムを縮められるか考え走りました。作戦タイムでは、どこの部分をだれが走るか、どうしたらタイムを縮められるかを、班長さんを中心に一生懸命に話し合っていました。そしていよいよ1回目のタイム測定です。どの班もやる気満々で本気で走っていました。全部の班がゴールしてタイムが発表にされました。さあ、ここからが本番です。2回目は、今のタイムよりさらに縮めることができればOKです。

どうする、子どもたち？と見ていると、1回目の時の作戦タイムより真剣に話し合っていました。そして、また全力で走る子どもたち。結果は、残念ながら1つの班が1回目より遅くなってしまうしましたが、3つの班が1回目よりタイムを縮めることができました。2回も全力疾走した子どもたち、疲労困憊かと思いきや、「もう1回走りたいです。」と先生に懇願。そこで、3回走ることになりました。大人だったらくたくたでタイムも惨憺たるものになると思うのですが、そこは元気いっぱいの子どもたち。さすがにこれまでのタイムを縮めることはできませんでしたが、驚くことにほぼ1回目のタイムと同じくらいの速さでした。すごいです。すると、また子どもたちから、「もう1回やりたいです。」の声が。熱中症も心配なので、途中水分を取りながらの活動です。



無理はできないので、走ることはそこで終わりました。最後の振り返りでは、「しっかりリードを取るように、互いにリードと言ってリードすることを忘れないようにしました。」

「スタートダッシュを失敗したので、この次は気を付けたいです。」

「リードを取り過ぎてしまいました。」

「バトンを渡すときにミスしてしまいました。」

と、きちんと成果と課題を発表し、次への意欲を示していました。

暑い中でも、意欲的に頑張る子どもたちが素晴らしかったです。そして、そうした意欲をかき立ててくださった先生も素晴らしかったです。